Creative Enzymes®

ネイティブボバインフィブリノーゲン

Cat. No. NATE-1595

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	フィブリノーゲンは、凝固カスケードの一部である急性期タンパク質です。このカスケードの最終結果は、フィブリノーゲンをフィブリンに□換するトロンビンの生成です。トロンビンはフィブリノーゲンを迅速にプロテオリシスし、フィブリノペプチドAを放出します。この小さなペプチドの喪失は、結果として得られるフィブリン分子を不溶性にするには不十分ですが、隣接するフィブリンおよびフィブリノーゲン分子と複合体を形成する傾向があります。トロンビンは次に、フィブリンからフィブリノペプチドBという二つ目のペプチドを切断し、形成されたフィブリンモノマーは自発的に重合して不溶性のゲルを形成します。重合したフィブリンは、非共有結合および静電的力によって結合され、トロンビンが因子XIIIに作用することによって生成されるトランスアミデーティング酵素である因子XIIIaによって安定化されます。不溶性のフィブリン集合体（血栓）と集合した血小板は、損傷した血管を塞ぎ、さらなる出血を防ぎます。血漿中のフィブリノーゲンの量は、体内に炎症プロセスが存在するかどうかの非特異的指標として機能します。任意の哺乳類由来のフィブリノーゲンは、任意の哺乳類由来のトロンビンによって切断されます。
別名	ファクターI; 9001-32-5

製品情報

種	ウシの
由来	牛血漿
外□	白からオフホワイトの凍結乾燥粉末
***CAS*登□番号**	9001-32-5
分子量	α-chain mol wt 63.5 kDa β-chain mol wt 56 kDa γ chain mol wt 47 kDa (about 4% carbohydrate content) soluble dimer mol wt 340 kDa
熱安定性	< 50°C

保管・発送情報

保存方法	2-8°C